

## 雑誌「形成外科」

# 【特集】ご投稿募集のお知らせ

雑誌「形成外科」では毎号特集を組んでおりますが、今般、以下の3つの特集に掲載  
するご論文を公募の形で募集致します。

**【特集】 その1 「美容医療の合併症から学ぶ-3」**

**【特集】 その2 「形成外科『番外』症例集」**

**【特集】 その3 「形成外科『チャンピオン』症例集」**

### 【特集】 その1 「美容医療の合併症から学ぶ-3」

2015年に大きな反響を呼んだ「美容医療の合併症から学ぶ-1：フィラー編」（58巻9号）と「美容医療の合併症から学ぶ-2：骨切り他編」（同10号）の続編です。以下、当時と同じ企画趣旨にてご投稿を募集致します。

この度、「美容医療の合併症から学ぶ」という特集を組もうと思っております。

学術雑誌に論文を投稿する目的のひとつは、個人的に経験した極めて稀な事象を読者に知ってもらい、多くの人が共有する知識と経験にすることです。いわゆる稀な病気の1例報告などはこれにあたり、学術雑誌の重要な使命です。

形成外科の診療を永いあいだされておられますと、美容医療などで生じた稀なトラブルを目撃されたご経験がおりなのではないかと思えます。患者さん個人にはお気の毒なことです、全体のためにはそのような貴重な事例は発表されて衆知され、その後の予防などに活用されなくてはなりません。

しかし、他医でのトラブル症例については、前医での治療前や治療中の情報が不十分であることが多く、論文として雑誌に症例報告することを断念せざるを得ない場合が殆どなのではないかと推測します。今回の特集では、そのハードルを極力低くし、極めて貴重でありながら日の目を見ずそのまま闇に葬られてしまいそうな症例にご登壇頂きたいと思う訳です。

したがって今回の特集では、通常の論文で要求されるような術前・術中に関する詳細な記載は必ずしも求めないことに致します。術前の状態に関する情報が乏しいことが予想されるので、「形成外科」ではなく「美容医療」のトラブルに限定します。といいま

すのは、美容医療では術前はさほど異常ではないことが推定されるからです。形成外科の患者さんの場合は術前状態を推定することが困難ですので、今回の対象からは省きます。また、論文の長さはかなり短く、ミニレポート風でよいことにします（実際の誌面2～4頁程度）。考察に関しても、さほど難しく考えたものでなくて結構です。

ただ、今回の特集では、隆鼻術や豊胸術で感染したりインプラントが露出したりというようなありきたりのトラブルではなく、極めて稀な事例という点は強調したいと思います。例えば「下顎の顎切りで骨片をとり出したら、関節突起までついていたので戻した」というような事例もあり、それだけでも今回の特集に値するでしょうが、その後の経過でその骨片がどうなっていたのか、というようなことは皆が知りたいことだと思います。そのような、「そんなことが起ることがあるの！！ それどうなるの？」と読者が目を丸くするレベルの症例報告をお待ちしております。かなり古い症例でも、また何編でも結構です（但し、1症例＝1編としてください。複数例をまとめて1編とはしないで下さい）。

また、関連病院、お知り合いの形成外科医でそのような稀な症例を経験された方をご存じであれば、是非ご紹介願います。

---

## 【特集】その2「形成外科『番外』症例集」

全く未知の疾患であったり、予想を超えた治療経過であったり、驚くべき結末であったりしたような珍しい症例を求めています。珍しいにもかかわらず、ほしいデータの一部がなかったり、文献を検索して識者に訊いてもわからなかったり、説得力のある考察を考えつかなかったり、というような理由で、これまで論文の形で症例報告することができなかった貴重な経験をご投稿して頂きたいのです。かなり古い症例でも、また何編でも結構です（但し、1症例＝1編としてください。複数例をまとめて1編とはしないで下さい）。論文の長さはミニレポート風（実際の誌面2～4頁程度）でもよいことにします。

医療医学の発展のために、貴重な症例は多くの医師に共通経験として共有されることが重要です。振るってご投稿ください。

---

## 【特集】その3「形成外科『チャンピオン』症例集」

素晴らしい出来栄への治療結果の症例をご投稿ください。素晴らしい出来栄であれば、すでに論文報告されているかも知れません。しかし、新規な治療法でその結果を得たのであれば論文報告できるでしょうが、そうでなければ「結果が良い1例」というだ

けになり、論文にすることは困難でしょう。

この特集では結果のみにこだわります。陳腐な方法で得た素晴らしい結果で結構です。読者に「自分たちもやっているこの方法でこんなに素晴らしい結果が出るんだ」という意識変革を起こさせるような症例報告をお待ちしています。論文の長さはミニレポート風でよいことにします（実際の誌面2～4頁程度）。

---

## 【ご投稿に際して】

※以上3特集の論文募集は半年～1年ほどかけて行い、特集にふさわしい数が集まったものから順次掲載していく方針です。もしも数が集まらなければ特集としては組めないこととなりますが、その際は、「掲載を決定した論文」につきましては何らかの形式にて本誌に掲載するように致します。

※当初の想定よりかなり多数のご投稿数（症例数）となりました際は、編集委員会にて読者の興味を惹くものに限定させて頂く可能性があることをご了承願います。

※ご投稿に際しましては、上記3特集のいずれにご投稿かを明記して頂いたうえで、本誌の「投稿規定」に準じて頂き、原稿データは小社HP（<http://www.kokuseido.co.jp/>）内の左メニュー「執筆者の方へ」から、「オンライン投稿サイト」にてアップロードして下さい（「署名用紙」はPDFまたはj-pegファイル等でご送付願います）。

※上記3特集ともに「英文 ABSTRACT」は不要です。

※個人が識別される症例の提示については、プライバシーの侵害とならないよう、十分な説明のもとに掲載に関する許諾をお取り下さい。

「形成外科」誌編集委員会

[編集担当：細川 互]

制作担当：克誠堂出版株式会社

雑誌「形成外科」編集室

担当：堀江，高林，大澤

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-23-5-202

Tel:03-3811-0995 Fax:03-3813-1866

E-MAIL: horie@kokuseido.co.jp